

きちんと米もたくさん取れるところなので、地元の原料でしっかりお酒を造っていけるという、それも特徴かもしれませんね。お酒というのはお米と水。ワインというのは全く水を使わないお酒なんです。同じ醸造酒なんですけれども、お酒とワインの違いは、ワインは一滴も水を使わないで出来る。お酒はもう水がいいところに出来る。お酒の量と米の量と大体同じくらい入っているんですけどね。やっぱり水のいいところに酒蔵ができて、そこに米はよそから持ってきて日本酒を造るというのが割と多いんですね。それこそ灘なんかもそんなもちろん兵庫県の山田錦なんかは全国に行きますけれども、割といろんなところから米を買ってきて造ったりすることも多くて、割と地産地消というふうにもっていくのは難しい産品なんですけれども。

○MC： そうですね。手間ひまもかかりますしね。

○辰巳： その中できちんと福島の場合は、たくさんお米も取れるから、地元で根ざした特徴のあるいろんなお酒を造られているなという感じがしていますね。

○MC： そうですね。

○辰巳： でもとにかくよくいろんな地方にお酒飲みじゃない、仕事しに行ってお酒を飲むんですけど、これがやっぱり楽しみでね。ほんとね。ワインもいま新しく逢瀬のほうにワイナリーができて、いま福島県には4つあるんですね。4軒目のワイナリーが、みんなちっちゃいんですけどね。

○MC： 福島県にもあるんですね。

○辰巳： 福島県はブドウもすごくたくさん取れて。

○MC： そうですね。フルーツ王国でもありますし。

○辰巳： 福島のブドウを使って、それを山梨に持っていったりして、あるいは長野のほうに持っていったりして、福島のブドウからいいワインを造れているんですけども、これからまただんだん地元のブドウの使ったワインが増えてくるんじゃないかなと。増えてきてほしいなと思っているところなんですけどね。どこだったかな。新鶴かな。新鶴のほうのブドウを使ったワインが海外のコンクールで金賞を取ったこともありますしね。割と何となくそういうふうに注目はしていますし、すごく福島のブドウでそういうのを取ったらすごくうれしいなと思いますしね。これからますますいいと思いますよ。

○MC： そうですね。そういう本当に食を通じて福島県がどんどんほかの県でしたり、世界につながっている様子が分かりますよね。

○辰巳： すごく力があるのに、あまりぱっとしないんですよ。ぴんとこない。つまり、何でも大体全国で県別の生産量を見ると、なかなか1位がなくて、2位とか3位とか4位とか、その辺を大体みんなそれぞれうろうろしているんですね。モモは2位でしたっけ。1位は山梨かな。量的にはね。でもモモを最も食べる県民は福島県民らしいですよ。山梨はみんな東京に行っちゃうんですね。そんな違いとかね。あと何でしたっけ、キュウリ。

○MC： そうですね。キュウリは1番だと伺いましたよ。

○辰巳： キュウリは夏秋のキュウリ。夏から秋にかけての路地もののそういうキュウリも、季節によっては1番なんです。でも1年で見ると2位か3位くらいかな。1年で見ると宮崎が確か冬から春のかな、その辺のハウスものが断然多くて、宮崎が1番、群馬あたりが2番、福島が3番とか、そんな感じでね。すごくいいものがあったたくさん作られているのに、何かもっと1番取ってほしいなと。エゴマ確か1番ですね。何となくいろんな人に説明するときに、1番がないと説明しづらいんですよ。もうちょっと1番が欲しいな。応援団的には思っているんですけどね。量が多けりゃいいというものではないんですけども。そのあたりも何ていうか、ひとつ福島、逆に

福島らしいところかなという感じもするんです。

○MC： そういった食の魅力は本当にありふれていて、県の地図に合わせて生産されている食べもの、野菜やら果物やらというのを見たときに、私もこうびっくりしました。こんなにあったのかと。もともと私は九州の出身の者ですから、きょうは全く福島にかかわりの……。

○辰巳： きょうは何しに来ているの？

○MC： 福島を知るために私は伺っているんですけども。

○辰巳： まあそうだね。あんまり福島、地元の人以外にもこうやって来るのが本当にいいことかもしれないし、いろんな外からの目で見えてどうですという感じを、感想をどんどん言ってもらったらいいと思いますけど。どうですか、福島。

○MC： 本当に食は最高だと思っています。毎回。

○辰巳： 佐賀より？

○MC： 佐賀出身なんです。佐賀県はやはり佐賀牛がおいしい県なんですけれども、福島牛もおいしいのと、福島に来たときに思いました。もう佐賀負けちゃったかなとちょっと一瞬思ったのと、あと郡山駅に降りたときも、佐賀駅負けたとちょっと思っていました。

○辰巳： 佐賀は新幹線走っていませんからね。

○MC： いや、一応走っているんですよ。九州新幹線が。

○辰巳： 走っているの。あっ、鳥栖だ。

○MC： そうなんです。鳥栖で走っているの、でも街の風景が、「ああ、何てこちらのほうが都会なんだろう」と思ったのが感想でしたね。

○辰巳： そうですか。こういう見方も大事ですよ。

○MC：ほんとに毎回かかわらせていただく度に、魅力たっぷりの場所だなと思うんですけども。でもやはり福島は東日本大震災があってから、やはりこの食の面に対してもいろいろと厳しい課題があるというのも、私もかかわらせていただく中で感じているところですけども、辰巳さんもやはり震災直後などこちら福島にいらっしゃったりされましたか。そのとき感じたこととか。

○辰巳： そうですね。いや、感じたことってやっぱり大変なことになったなと、もちろん思いましたけど。それをやっぱりバネにして頑張ってもらいたいなとほんと思っているし、きょうも避難の解除区域が一つ増えて、少しずつゆっくりではありますが前進しているなという感じもあるし、あとは漁業のほうもちょっと復活が待たれるんですけどね。でもその中で観光業がね、ぼく観光庁のアドバイザーなんかもしているんですけども、やっぱりイメージって本当に、1回ついたイメージをぬぐうのは大変で、会津なんて本当にずっとまだ観光客も減ったままで、修学旅行とかでずっと、やっぱり会津ってそういう意味ではある種の日本人の魂の拠点の一つでもあったわけで、そういうのがなかなか行きづらくなったというのは非常に困ったことだなと思いますし、でも逆に言うと、すごくそれに対して、しっかりと検査をしているんですよ。全品全量やっていて、放射能も全くお米にも出ていませんし、逆にいま流通している福島の商品は安全だという、そういう言い方をもっとしなくちゃいけないなと思うんですね。

つまり、福島という名前がついている以上、もう100%検査をして安全なものであるという、県民の方たちもそういう自信を持ってやっていただきたいと。福島県以外のほうでは、やっぱりそこまでやっていないんですね。やっていないからどうかというのはなかなか難しく、断定はできませんけれども、やっているから安全だという言い方を本当にしてもいいんじゃないかなと。割とぼくはそういうことを言っています。去年の10月にミラノ博で福島ウィークというのがありまして、そのときちょうど知事と一緒にミラノに入って、ぼくは別件でちょっとヨーロッパのほうに行くついでというか、ちょっと足を伸ばして、知事たち一行と合流しまして、イタリアに向けて世界に向けて少しスピーチしたり、話をしたんですが、その中でそういう話をしますと、やっぱりきちんと何かそういう理解はすごくしていただきました。「なるほど、そうなんだ」という感じの、やっぱりそうやってどんどん伝えていくっていうのは本当に大事だなと思うし、もっと自信を持ってって変ですけど、割と日本人、中でも東北のほうの皆さんは、どうも自慢をしたがらないですね。自分のところのまちが一番だ、自分のところの食べものが一番おいしいんだという、この辺はイタリア人なんかはもうすごいものですからね。

○MC： アピールがすごいんじゃないですか。イタリアですとね。

○辰巳： もううるさいくらいアピールしますけどね。そんな方向性でできればいいのになと。でもそんなふうには、日本人が、あるいは福島がそんなふうになっちゃうと、福島人っぽくなるんですね。そういう常にアンビバレントな、何というかちょっと困った部分はあるんですけど、でももう少しというか、気持ちちょっと持ち上げるくらいだね、ちょっとしたことで大分違ってくると思うんですね。階段1段上くらいでいいですよ。そんな上まで行かなくていいんですけどね。そんな形でちょっとずつ前へ前へ、上へ上へ持ち上げていけないかなと思っていますし、こういう県外の応援団もどんどん増えてきていると思いますし、そういう人ももっと一緒になって、これからも応援しなくちゃなと思っているんですけどね。

○MC： 私もですが、辰巳さんも普段は東京でお過ごしになっているかとは思いますが、東京にも日本橋のほうに福島の中核MIDETTE（ミデッテ）という。

○辰巳： ミデッテってどう言うんですか。アクセントは。ミデッテ、ミデッテ。

○MC： ミデッテですかね。

○辰巳： 違います？

○MC： そちらに私、ちょっとこないだ足を運んだんですけど、まだ行かれたことは？

○辰巳： 俺ね、オープンのときに行ってる。

○MC： ほんとですか。

○辰巳： 最近そう言えば写真を見たら、そうだ行っているじゃないと。

○MC： 忘れていたんですか。

○辰巳： 忘れていたんじゃないしにね、別のところのつもりだったの。それがミデッテだと。それと結びつかなかったですね。すみません。

○MC： なるほど。でもほんとに先ほどの日本酒もたくさん置いてらっしゃいましたし、お野菜など健康食品・加工食品系もたくさん置いてらして、夕方ごろに行ったんですが、恐らく日本橋界隈にお住まいの方々が普通にご飯を作るためにお買い物に来ている感じで、ずらっとレジに並んでいたんですよ。普通のスーパーの風景だなと。夕方ごろレジに並ぶじゃないですか。なので、アンテナショップでそういう光景を見たことが、私は注目